

江戸川区卓球連盟規約

第1章 総則

- ① 本連盟は江戸川区卓球連盟と称し、事務所を江戸川区中葛西5-19-30 2F T.T.Labo内に置く。
- ② 本連盟は卓球の普及、発展、技術の向上、会員との交流、健康増進を図り、健康社会へ貢献することを目的とする。
- ③ 本連盟は卓球を愛好する登録者にての組織とする。
- ④ 本連盟の登録者は、区内在住、在勤者とし、他の連盟、学連（大学）未登録者であることとする

第2章 加盟および脱退

- ① 本連盟に加盟する者は、所定の用紙に所要事項を記入の上、加盟費を添えて申し込むものとする
 - 1、団体登録 ○継続1000円 ○新規1200円
 - 2、個人登録 1500円
- ② 本連盟に加盟する団体または個人で登録事項に変更が生じた場合及び脱退を希望する場合は、遅滞なく文書にて届け出をするものとする。

第3章 事業

- ① 本連盟は左記の事業を行う。
 - ・卓球競技の普及。
 - ・各種大会の開催。
 - ・江戸川区体育会との連絡事項
 - ・加盟選手の各種対抗試合（都民大会、墨東五区）への派遣。
 - ・その他運営上必要と認める事項。

第4章 役員

- ① 本連盟に左記の役員を置く。
 - 1、会長 1名 2、副会長2名 3、顧問若干名 4、会計監事2名
 - 5、相談役若干名 6、理事長1名 7、副理事長若干名 8、理事若干名
 - 9、評議員、加盟団体より1名 10、会計2名
- ② 会長は評議員会の推薦により決定し、連盟を代表し之を総覧する。
- ③ 副会長は評議員会の推薦により決定し、会長を補佐し会長に事故がある場合は代行する。
- ④ 理事長は理事の互選により推挙し、会長がこれを発議し会務を総括執行する。
- ⑤ 副理事長は理事の互選により推挙し、理事長を補佐し理事長に事故がある場合は代行する。
- ⑥ 理事は評議員会の互選により推挙し、必要に応じて若干名については理事長がこれを会長の承認を得て委嘱することができる。
- ⑦ 評議員は加盟チームより1名推薦し運営にあたる。
- ⑧ 会計は理事の互選により決定し、本連盟の一切の会計を管理し、予算、決算等適時会計の報告を行う。
- ⑨ 会計監事は、評議員会の推薦により会長が委嘱する。
- ⑩ 顧問、相談役は評議員会の推薦により会長が委嘱し、連盟の運営上の諮問に応じる。
- ⑪ 役員の任期は2カ年とする。

補欠役員の任期は前任者の残任期間とし、増員による役員の任期は他の役員残任期間とする。
- ⑫ 本連盟から東京卓球連盟江戸川支部理事として1名を派遣する。

第5章 会議

① 本連盟は左記の会議を行う。

1、評議員会。

2、理事会。

② 評議員会は年1回会長が招集し、連盟の最高機関とする。

但し、必要と認めるときは臨時評議員会を会長が招集する。

③ 理事会は必要に応じて理事長が招集し、連盟の運営にあたる。

④ 評議員会および理事会は、その過半数（委任状を含む）をもって成立し、同数の場合は議長がこれを決定する。

但し、連絡なき欠席は、評議会においては会長に、理事会においては理事長にその決議事項の一切を委任したものとみなす。

第6章 会計

① 本連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

② 本連盟の経費は、加盟費およびその他の収入により充当する。

③ 会計役員は、左記の帳簿を備えるものとする。

1、出納簿

2、寄付金綴

3、領収書綴

4、預金通帳

④ 会計監事は、毎年3月31日を期して、会計の提出する諸帳簿を監査しなければならない。また、会計監査後の収支についてはその都度監査を受けるものとする。

⑤ 会計監査は、会計監査終了後の評議員会において監査報告を行うものとする。

第7章 処罰

① 本連盟加盟団体または、選手において、本連盟の名誉をけなし、また卓球選手としての品位を失墜する行為をなしたものは、理事会の決議を経てこれを除名または大会出場停止処分（1大会または1シーズン）に処するものとする。

第8章 附則

① 本規約の改廃は、評議員会の議決を経るものとする。

② 本規約は平成29年4月1日より施行する。

江戸川区卓球連盟ルール

第1章 大会ルール

江戸川区ならびに江戸川区卓球連盟主催の大会は、平成27年4月1日改定、現行の日本卓球ルール及び江戸川区卓球連盟ルールにて大会を行う。

第2章 団体戦

- ① 団体リーグ戦競技は同一グループ内のメンバーでチームを構成し、オーダー提出後試合を行う。
- ② オーダーの記入方法（順番）で、左記の大会は江戸川区卓球ルールにて試合を行う。

○江戸川区団体リーグ（年2回）

○江戸川オープン大会（年1回）

- ・ 試合開始整列の際に出場メンバー（4名以上）が揃っていない場合、その試合は棄権となり3名でのエキシビジョンマッチとなり、試合方式はダブルスとシングルスのみとなる。
- ・ 1番ダブルス 2番から5番シングルス
- ・ ※1番ダブルスに出場した選手は2番、3番のシングルスにはどちらかの1名しか出場出来ない。（オーダーミスの場合は2番のシングルスが棄権となる）
- ・ 男子チームに女子の参加は1名を認める。
- ・ 戦績でチームが同率の場合は、同率チームでのセット数、ポイント数で勝敗が確定する。
- ・ 尚、2者間で同率の場合は相対で勝敗が確定する。

○バタフライダブルスカップ

- ・ 試合開始整列の際に出場メンバー（4名以上）が揃っていない場合、その試合は棄権となりエキシビジョンマッチは行わない。
- ・ 1番から3番ダブルス※4名の構成チームの場合、3番のダブルスは1、2番で出場した選手1名ずつで構成する。尚、オーダーミスの場合は1番もしくは2番のダブルスが棄権となる
- ・ 男子チームに女子の参加は1名を認める。
- ・ 戦績でチームが同率の場合は、同率チームでのセット数、ポイント数で勝敗が確定する。
- ・ 尚、2者間で同率の場合は相対で勝敗が確定する。

第3章 個人戦

- ① 年代別競技は、大会開催日に参加種目の年齢に達している者が出場できる。
- ② 障害者が車椅子で出場する場合は車椅子（障害者）ルールを適用する。
 - ・ サービスを出す際に障害者、健常者共に2バウンド目がサイドラインを超えると失点となる

第4章 附則

- ① 選手は名前、出場チームがきちんと明記されたゼッケンを着用する。
- ② トレーニングウェア着用でのプレーイングは認めない。但し、怪我などで着用をせざる得ない場合は大会審判長の許可を得る。
- ③ 競技ウェアは公認ワッペン付のゲームシャツ、パンツを着用する。
それ以外のウェア着用でのプレーイングは認めない。